



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
新しい年が、皆様にとって幸多き輝かしい年となりますよう、
心からお祈り申し上げます。

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



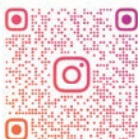
ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

JA.KITASORACHI

目次

- 新年のご挨拶 2~3
- 消費者に支持されるゆめぴりかを
「ゆめぴりかの匠」表彰式 6
- 地域の担い手対策について市議と意見交換 ... 7
- 今月号の表紙 12



新年のご挨拶

きたそらち農業協同組合

代表理事組合長

岩田 清正

新年あけましておめで
とございます。

組合員の皆様におかれ
ましては、ご家族お揃い
で輝かしい新年をお迎え
の事と心よりお喜びを申
し上げます。

また、日頃より当組合
の事業運営に際し、特段
のご理解とご協力を賜り
厚く御礼申し上げます。
さて、昨年は元旦から
激動の一年になりました。

元旦に起きた能登半島
の地震では、震度7とい
う想定を超える大地震と
なり、大きな被害が発生
し、沢山の方がお亡くな
りになりました。

さらに翌日には羽田空
港での輸送機、旅客機衝
突事故が起き、雲行きが
心配な一年の幕開けとな

りました。

健康食品の問題も浮上
しました。多くの食品に
使用されていた一部の紅
麹に、毒性の強い青カビ
由来の成分が混入したこ
とによって健康被害が拡
大しました。

政治の世界では、自民
党の裏金問題に端を發し
た政治不信等により岸田
内閣が総辞職し、石破新
総裁の就任後、すぐに行
われた解散総選挙では、
政権与党が大きく議席を
減らす結果となりました。

当農協管内の気象経過
ですが、春先の雪解けは
例年並みでした。穏やか
な天候にも恵まれ、農作
業の進捗は前倒し傾向で
進み、大きな災害も無く、
春の移植、各作物の播種

などは順調に進みまし
た。

5月下旬に低温の日が
あり、若干の生育遅れが
生じたものの、6月中旬
からは暖かな日々が続き
生育の遅れは回復しまし
た。

7月から8月にかけて
は猛暑が続きました。時
折雨天もあり、作物に
とっては恵みの雨ではあ
りましたが、大雨で一部
冠水するところもありま
した。しかし大きく減収
となる気象ではありません
でした。

その様な経過の中、水
稲においては、春の準備
作業から暖かな日差しを
受け、順調に進みました。
播種・移植作業において
も順調で、平年よりも早
い進捗で作業が進みまし

た。5月下旬に低温があ
り、莖数が平年を下回り
ました。

その後は好天が続き生
育は順調で、大きな被害
もありませんでした。

しかし、気温の高い日
が続いたことで草丈が徒
長し、倒伏により収穫時
に影響を及ぼしました。

北空知の作況指数は
「103」となり、豊作
を実感できる出来秋とな
りました。一昨年は実感
がない指数「102」で
したが、昨年は歩留まり
も良く、良品質で収量も
増えました。

またこれまで在庫が潤
沢になっていった主食米
は、生産調整や南海トラ
フ臨時情報、インバウン
ド需要の増加、他の食品
の値上げによる割安感な

ど、様々な要因が重なり、
結果として「おコメ」本来
の価値が再認識され、価
格が上昇しました。

畑作物についても、雪
解けが早かったことから
春作業は順調に進み、適
度な雨と平年を上回る気
温・日照により、ほとん
どすべての畑作物におい
て平年を上回る進捗で生
育しました。

秋小麦については、順
調な生育で、収量は増え
ました。登熟期間も日照
時間がしっかり確保でき
たことと、形質が良好で
あったため全量Aランク
に調製することが出来ま
した。

豆類については、小豆・
大豆ともに順調に生育し
ました。生育期全般にわ
たり適度な降雨があり、

気温も高かったため、収量が伸びました。

そばについては、耕起、播種と順調に進みましたが、夏場の高温による花芽の退化により実の留まりが悪く減収しました。

青果・花きについては、生産者及び面積の減少もあり収穫量は減少しましたが、経済活動が活発化してきたことや、西日本の梅雨の影響、インバウンドの増加で消費量が増え販売金額の上昇につながりました。

肉牛については、素牛価格の低迷、飼料価格の高騰等、生産者にとって、厳しい環境は変わっておりません。乳牛においても、猛暑による生乳の減産、同じく飼料の高騰、さらに子牛価格の下落の三重苦で、農家の自助努力ではどうしようもないことが多く、国による支援が必要な状態です。

組合員の皆様におかれましては、基本技術の励行と時事に見合った生産にご協力頂き、多くの農作物の出荷を頂きました事に心よりお礼を申し上げます。

げます。

さて、国外に目を向けますと、円安の状況は変わらず、生産資源の多くを輸入に頼っている我々農業者は生産コストの増加が著しい状況です。

ロシアによるウクライナ侵攻は未だ終息の気配が見えず、さらにイスラエルとイスラム組織ハマスの紛争も終息の兆しは見えません。

世界的な人口の増加に伴い、食糧はもとよりその生産を増やすための資材の安定的な確保が急務になっていきます。

自国の食糧確保を第一に掲げ、輸出を制限する国が多くなり、また円安に大きく傾いた事もあり、日本に農作物が入りにくくなっていることが現状です。

さらに、世界各地で線状降水帯や、干ばつによる被害、超大型の台風など、異常気象による被害が続出しており、これは温室効果ガスの影響で地球温暖化が進んだのが一因とされており、日本

この対策として、日本

は2050年を目途にゼロカーボンを目指すとしています。

農業関係においても、水田や畑からも温室効果ガスが排出されており、その対策も急務となってきました。

その様な中、昨年11月に「持続可能な農業への取り組みとして、私たちが出来ることから始める事が大切だ」と考え「J-Aきたそらち環境フォーラム」を開催しました。

250名ほどの来場者の中には「全く環境のことを考えてなかった」とのご意見も頂き、消費者が求める食糧を安定的に届けることができる生産基盤を次の世代へつなぐためにも、環境に配慮した取り組みをしっかりと実践し、そのための努力や工夫は日々研鑽するべきものと改めて強く感じました。

一方、国内に目を向けると、昨年の米の全国作況指数は「101」の平年作となりました。昨今生産費を下回っていたコメ価格は、8月頃から不

足感で急騰し、出来秋を迎えてからも高止まりのままとなっています。日本人の主食であるコメが、通年において適正価格で安定供給できない事態は憂慮すべきであり、安全で安心な食糧を供給するには、何より生産者と消費者双方がそれぞれ満足できる状態であり続けることが重要だと考えます。

全国の米の生産量を安定して調整するのは大変難しいことは理解しております。とは言え系統組織がしっかりと結集し、コメの安定供給に取り組んでいくことが重要であります。

「日本一の米産地」を目標に掲げ、打ち出した第7次の農業振興計画・農協経営計画も本年は第8次の計画へと進みます。

目まぐるしく変わる農業情勢に対応しながら、全道一の生産量と集荷量を誇るコメ責任産地として、農業生産の拡大と農家所得の増大は命題であり、地域を守るため、担

い手の確保・育成に取り組みつつ、協同組合の結束力により、地域経済発展の核となる農協を目指し進んで行きたいと思えます。

組合員の皆様を、生涯に渡ってサポートし「農業振興を通じて地域社会に貢献」することを理念に掲げ、本年も役職員一丸となり邁進していく所存です。

本年は六十年に一度の「乙巳（きのとみ）」であります。大きな成長と結実の一年となる事を願い、本年も天候に恵まれ、稔り多い一年に成ると共に、組合員の皆様にとつてご健勝で、幸多き年に成ります事をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

樽井 功

新年あけましておめで
とございます。

組合員の皆様におかれ
ましては、日々営農に更
に邁進されておられるこ
とと存じます。

また、組合員・役職員
の皆様が丸となり地域
農業の振興や地域社会の
発展に向け、日頃より多
大なご尽力をされている
ことに対して、改めて
敬意と感謝を申し上げ
る次第であります。

昨年の北海道農業につ
いては、春先から天候に
恵まれ、各作物の生育は
全般的に平年よりも早く
進んでおりました。しか
しながら、夏場は猛暑・
豪雨による記録的な高温
多湿の影響を受け、各作

物等の収量および品質に
影響が出た年となりまし
た。

近年、気候変動等によ
る自然災害の多発や栽培
適地の变化、国際紛争や
急激な円安の進行による
飼料・肥料をはじめとし
た生産資材の高止まりが
農業経営に甚大な影響を
与えており、農業・農村
を取り巻く環境は一段と
厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶ
りに食料・農業・農村基
本法が改正され、現状に
即した基本理念の見直し
と、「食料安全保障の抜
本的な強化」、「環境と調
和のとれた産業への転
換」等の実現が盛り込ま

れました。政府は、初動
5年間を農業構造転換集
中対策期間と位置づけ、
施策を集中的に実行する
とともに、今年3月に食
料・農業・農村基本計画
を策定するべく引き続き
検討を進めております。

J Aグループ北海道と
しては、食料安全保障の
強化と持続可能な北海道
農業の確立のために、農
地の確保および適正利用
の強化、食料・自給飼料
等の安定生産・供給と環
境負荷軽減の両立に取り
組みながら、それを後押
しする力強い政策支援を
求めていくことが重要と
考えております。

また、昨年は第31回J
A北海道大会が開催さ

れ、「食料安全保障の強
化と持続可能な北海道農
業の確立」、「J Aの組織
基盤の強化と健全な経営
基盤の確立」、「アグリア
クシオン北海道の推進に
よる農業・食・J Aへの
理解醸成」の3つの議案
を決議いたしました。

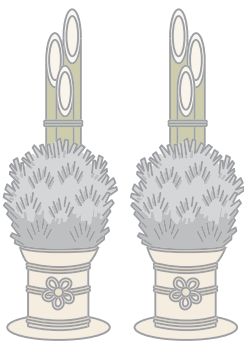
今後、議案の達成に向
けて、組合員・J A・連
合会が丸となって、生
産現場の行動変容と組合
員の意思結集による農政
運動、J Aの経営管理の
高度化やデジタル化の推
進による業務効率化・生
産性向上に取り組んでい
かなければなりません。

さらに、消費者の皆様
には、J Aグループ北海
道統一の情報発信のフレ
ーズである「アグリアク
シオン北海道」を浸透さ
せるとともに、効果的な
情報発信により、今まで
以上に農業・食・J Aに
対する理解を深めていた
だき、J Aグループが提
唱する「国消国産」の認
知を広げてまいりまし

う。

結びになりますが、本
年は巳年です。巳（へび）
は冬眠から目覚め地上に
這い出すことから、冬に
根をはった草木が芽を出
し「新しい種子が生まれ
る」という意味があると
言われ、転じて、巳年は
力を蓄えていたものが芽
を出す「起点」の年、脱
皮する特性と併せ「再生
と誕生」を意味する年だ
と言われています。

この謂われにあやか
り、本年が北海道農業の
飛躍の起首となること、
皆様のご多幸とご健勝を
ご祈念申し上げます。
ご挨拶いたします。





年頭のご挨拶

JAきたそらち青年部

部長 宮田 雅大

新年明けましておめでとうございませう。

日頃より当青年部に対し、各関係団体並びに組合員の皆様には特段のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年の営農を振り返りますと、春先は好天に恵まれ順調に雪解けし、春耕作業・播種作業・移植作業も順調に推移しました。5月下旬から6月上旬にかけて低温となりましたが、全体を通しては比較的高温で推移し、降雨も適度であったため、各作物とも良い出来秋となりました。基幹作物の水稻において

も、北空知の作況指数は『103』のやや良となり、前年程の猛暑にもならなかったことから品質も前年度より良くなりました。さらに前年の米不足等の要因により、8月には全国のスーパーの棚から米が無くなり、『令和の米騒動』とも言われた状況となりました。これにより、近年にないほどの米の概算金が上昇し、生産者にとっては嬉しい一年となりました。

しかし、ロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナ問題は未だ終息が見えず、円安の影響が続き、肥料や農薬、燃料等生産



年頭のご挨拶

JAきたそらち女性部

部長 高田 聡子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より組合員並びに各関係機関各位の皆様には、JA女性部活動へのご理解と協力を賜り心より感謝申し上げます。

地方新聞によりますと昨年の北海道農業10大ニュースの一位

は、『令和の米騒動』二位には『25年ぶりに食料・農業・農村基本法改正』、さらに並列記事の見出しには『農産物価格コスト反映へ』。新法には食料の持続的供給のため価格形成に生産コストを反映した合理的な費用の考慮が必要、適正な価格形成

を實現する仕組みの法制化を目指す、との詳述がございました。思えば各所米売場の棚にお米が1袋も販売されていない...という光景は真に大きな衝撃であり、常よりJAきたそらちの米をお買い求め下さる消費者のお手元に少しでも早く新米をお届けしたいという思いを強くする状況となりましたが、同時に消費者の皆様には空の米売場の向こう側、私たち生産者の存在をあらためて意識するとともに国内食糧安全保障という問題にも目を向けていただけたのではないかと存じます。

資材の高止まりが続いています。さらに、『2024年問題』とも称される物流業界の規制強化による物流経費の上昇等も重なり、私たち生産者を苦しめています。そのような中でも、私たち青年部は、安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、国民の食を守る役割を担っています。盟友同士の交流の機会を大切に、作物栽培技術や農業経営に関わる様々な情報や考えを共有し、日々の営農に尽力して参ります。

青年部活動においては、ほぼコロナ禍以前の活動に戻り、球技大会や部員交流会等盟友間の交流を深め、営農学習会で栽培技術等知見を深めました。2月には本所駐車場においてスノーメッセージの制作を行い、『Advance Go!』というメッセージに「暗い話題が多い中でも、前向きに進んでいこう」という思いを込めました。

8月には白米販売促進事業として、音更町のハピオ木野においてJAきたそらち産米の試食販売を行いました。「ななつばし」と「ゆめぴりか」を5割ずつ配合した当農協とハピオ木野によるオリジナルブレンド米『羽飛雄（ハピオ）』とハピオ木野オリジナル商品『JA木野HapiO×豊西牛十勝ビーフカレー』との試食販売を行い、米不足という状況下あまり数量は用意出来ませんでした。2日間で用意していた5+袋200袋を完売することが出来ました。また、11月には北広島市のホクレンくるるの杜において、女性部と合同で「JAきたそらち農産物フェア」を開催しました。当日は降雨と強風という非常に悪い条件での開催となりましたが、青年部・女性部が共に呼び込みを行い、当農協の農産

物のPRをすることで、用意していた農産物を完売することが出来ました。両事業を通じて、実際に消費者と直接交流することで、私たちが生産した農産物を知ってもらい、有難い言葉をいただく等、素晴らしい経験が生まれました。

結びとなりますが、資材価格高騰、担い手不足や労働力不足等、農業に対する課題は山積みではありますが、私たちは青年部活動を通じてJA運動の先頭に立ち一丸となって乗り越えていきたいと思っております。

本年も各関係団体並びに組合員の皆様からの、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

初春の陽光に眩い白銀の下、雪解けを待つ大地が今年も緑豊かに実るの季節を心待ちし、皆様の明るい笑顔に心弾む一年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

JAきたそらちの農産物への厚いご信頼とご期待にお応えするべく、環境負荷に配慮し、より安心・安全・安定した供給を目指していかねばなりません。

昨年、JA女性協議会北海道大会におきまして全道各地区女性部のご当地が誇る特産品等をステージ上でアピールするイベントに役員一同参加させていただきました。5分の制限時間内でJAきたそらちをご紹介しますということは至難の業でしたが、産地の風土が育む農産物の素晴らしさを全道のみならず



共有する機会を得たことは幸いでございました。ここにしかない私たちの風土を消費者の皆様と共に守り『魅力ある地域社会』を作って参りましょう。

初春の陽光に眩い白銀の下、雪解けを待つ大地が今年も緑豊かに実るの季節を心待ちし、皆様の明るい笑顔に心弾む一年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



消費者に支持されるゆめぴりかを 「ゆめぴりかの匠」表彰式

11月21日、「ゆめぴりかの匠」の表彰式が札幌市内で行われ、道内生産者21名が出席した。

「ゆめぴりかの匠」とは、タンパク6.8%以下の出荷率が5年連続で全道平均を上回った生産者に与えられる称号のこと。今年は全道で56戸の生産者が選ばれ、当JAからは5戸の生産者が受賞している。

「ゆめぴりかコンテスト全道大会」に続いて行われた同表彰式には、匠を受賞した佐藤孝俊理事（深川支所）と北清裕邦さん（北竜支所）が出席し、主催者である北海道米の新たなブランド形成協議会の大関光敏会長から表彰状を受け取った。

受賞した北清さんは「5年連続で、低タンパク米をより多く出荷する事は難しい事。まさしく、選ばれた生産者は『匠』。今後も消費者に支持されるゆめぴりかを目指し、低タンパク米生産を続けていく」と話した。

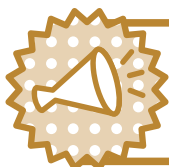
また、「ゆめぴりかの匠」へのインタビュー動画が、当JAのYouTubeチャンネル「きたそらちゃんねる」で公開予定となっておりますのでぜひ皆さまご覧ください！

＜受賞者は以下の通り＞

〔深川支所〕 佐藤孝俊さん 〔北竜支所〕 北清裕邦さん、高畑克洋さん、（有）竹下村塾さん 道下浩さん
【販売部 高木】



販売部



生産者の顔が見えるお米の販売を ハピオ木野店で販促応援イベント開催

11月21日から4日間、当JA産米の取引先であるJA木野が運営するスーパーマーケット・ハピオ木野店（音更町）でお米の販促応援を実施した。

初日はふかがわまい「ふっくりんこ」、2日目は北竜ひまわりライス「おぼろづき」「きたくりん」「風の子もち」、3日目は今年4月から販売を開始したJAきたそらち産ブレンド米「羽飛雄（ハピオ）」、4日目はうりゅう米「ななつぼし」を販売。各日、それぞれの地区の生産者が店頭に立ち、お米すくいなどを実施しながらイベントを盛り上げた。

羽飛雄米の販売イベントには、北海道米アンバサダー横倉綾乃さんが応援に駆けつけ、イベントに華を添えた。さらに、うりゅう米イベント時にはトップセールスとして白川久純雨竜町長にも応援を頂き、お米の販売に力を貸して頂いた。

イベントに参加した北竜もち米生産組合藤井啓二組合長は「ここまでお米が売れている事を知ると嬉しい気持ちでいっぱいになった。食べてもらって知ってもらうのが1番だということを改めて感じましたし、美味しいとの声も沢山頂けた。我々農家も自信を持って安心安全な米を育てて参りたい」と感想を話した。

米は4日間で約5tを販売し、過去1番の売り上げとなった。今後も産地の強みを活かした生産者の顔が見えるお米の販売を企画していく。

【販売部 高木】



台湾スシローへ推進 「えみまる」の輸出実現に向けて

12月6日、直播専用品種「えみまる」の推進を目的として、JAきたそらち直播研究会役員、ホクレンや関係会社、当JA役職員などあわせて11名が台湾スシローへ訪問した。

当JAの令和6年産輸出用米は、約2,400tとなっており、そのほとんどがアジア圏のスシローで使用されている。多くの日系飲食店がお米をその国で調達していることが多い中、スシローは日本でのクオリティそのままの寿司を国外で販売するため、日本産米にこだわり当JA産「ななつぼし」も一部利用頂いている。

今回「えみまる」推進の他にも、農家の高齢化や1戸あたり作付面積の増加等の理由から、生産現場には直播栽培がなくてはならない技術であることを説明。スシロー側からも「生産現場の問題解決に協力をしたい」という温かい言葉を頂いた。

「えみまる」は「ななつぼし」と同等の食味である事から、すしシャリとしては問題ないと考えられるが、今後炊飯試験等を行い「えみまる」の輸出実現に向けて販路拡大に取り組んでいく。

【販売部 高木】



深川市受入協 地域の担い手対策について 「公政クラブ」と意見交換

11月25日、深川市新規就農等受入協議会（佐々木伸介会長）が、深川市議会の農業者議員会派「公政クラブ」との意見交換会を深川市で開催した。同市の担い手対策や新規就農支援における様々な課題分析・意識共有を行い、今後の地域農業のさらなる発展に資することを目的に初めて開催。同協議会員や同会派議員ら合わせて25名が参加した。

開会に際し、佐々木会長は「後継者不足は地域農業の可能性を脅かす大きな課題。意見交換会を通じて地域における現状と課題を共有し、農業における担い手を確保し育成する仕組み作りと支援体制の強化を進めたい」と挨拶した。

事前に同協議会役員など「新規就農者への支援とマッチング体制について」、「農家経営移譲における行政の役割について」など4つのテーマを設定。同協議会員が意見や要望をし、同会派議員が回答した。同協議会員からは「新規就農者を募ると同時に、受け皿となる農業者に法人設立のための費用等支援をお願いしたい」や「新規就農者の受け入れに先進的な自治体の成功事例を参考とした研修モデルを導入いただきたい」などの意見が出され、同会派議員は「新規就農者のためにも、現役世代で地域の農業と農地を継続して守っていきけるような施策を考えたい」、「地域の担い手における課題がより鮮明になった。今後も様々なご意見を聞かせていただきながら、新規就農者の定着に尽力する」などと回答した。

同会派の鶴岡恵司会長は「農業研修生の定着やこの地域への移住者が増えるような環境作りが急務。この地域における担い手対策は極めて重要な案件であるため、今回いただいた意見や皆様の思いをしっかりと受け止め、行政等への要請活動に努めて参りたい」と総評を述べた。





一已中学校農業体験 実食 とうもろこしがポップコーンへ!



11月19日、深川市立一已中学校3年生による「ポップコーンづくり」が深川市働く婦人の家で行われた。同中学校では、総合的な学習の時間として、今年度4回に分けて農作業体験を行っており、生徒らはこれまで当JAの試験圃場で6月にとうもろこしの苗の定植・9月の除草作業・10月に収穫を体験している。

この日は生徒60人が、栽培したポップコーンの原料となるとうもろこし「イエローポップ」を使ってポップコーンを調理した。

フライパンでポップコーンづくりを初めて行う生徒が多く、はじめに当JA農業振興部の職員が手順と注意点を説明した後、生徒が1人30gのとうもろこしをフライパンで調理。ポンポンというとうもろこしの弾ける音に驚きながらも楽しげに体験を行っていた。

参加した生徒は「とうもろこしを畑で作るところから始めて、ちゃんとポップコーンになったのは嬉しかった。美味しくできて良かった」「初めてポップコーンを作ったが上手くできた。今度は家でも作ってみたい」と笑顔で感想を話した。



JAきたそらち女性大学カレッジあみていえ4期生 「きたそらち産大豆を使った豆腐作り」

農業
振興部

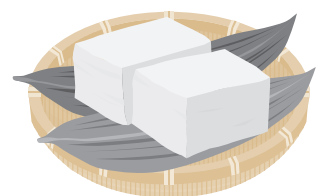
12月3日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」4期生の第5講が開催され、受講生18名が参加した。

JAきたそらち女性部深川支部加工部を講師に迎え、きたそらち産の大豆を使用した豆腐作りと、豆腐作りの過程で出たおからを使った卵の花作りが行われた。

機械で大豆を潰したものを釜で茹で、別の機械でおからと豆乳に分離させる。豆乳に、にがり混ぜた後は型に流し入れ、水に浸けて固まるのを待った。固まるまでの間は、おからを深川産の人参やごぼうと混ぜて卵の花を作りあげた。

豆腐が固まった後に包丁で切り分ける作業を行い、手作りした大きな豆腐に参加者たちは大満足の様子であった。また、その場で豆腐の試食も行われ、出来立ての豆腐は豆の味をより味わうことができ、醤油をかけなくてもとても美味しいと好評だった。

今回参加した受講生は「出来立ての豆腐がこんなに美味しいとは思わなかった。今回は自宅に持ち帰ることが出来るので、食卓でも家族と楽しみたい」と笑顔で話した。





「もしもに備えて正しい知識を」 助け合い組織合同講習会

11月29日、JAきたそらち助けあい組織（6組織）が、深川消防署にて応急処置の基礎知識を学ぶため合同講習会を開催し12名が参加した。

深川消防署指令救急課消防司令補 柴田和宏氏から、119番通報の手順や救急車の適性利用方法についての講和を受けた。

講話の中では、深川消防署管轄における令和5年の救急車出動要請が1,426件あり、その要請の中には「病院の待ち時間が長いから救急車を呼んだ」「病院までの移動手段が無いから」など軽傷や緊急を要さない通報が約4割を占めていることが説明され、参加者は救急車の適正利用について改めて知識を深めた。さらに、もしもの時に備えた訓練として参加者が実際に119番通報をして指令室と対話を行い、救急車出動までのスピードに驚いていた。

その後、AEDや胸骨圧迫の救命処置の手順を学び、参加者は昔と現在の処置の違いや急病人の対処方法など質問し真剣に聞いていた。

柴田氏は「現場の状況やケガ・病状を見て自己判断で迅速に対処する事が生存率を上げる事にもなる」と参加者に呼びかけていた。



深川市手をつなぐ育成会

クリスマス会を開催

農業
振興部

12月7日、深川市内にあるNPO法人 深川市手をつなぐ育成会主催のクリスマス会がデザイン設計1階ホールで開催された。

深川市手をつなぐ育成会は、障がい者が地域とのつながりを大切にしながら自立に向けた社会適応訓練や就労援助、創作活動など心豊かな生活が送れる事を目的として、生活介護・就労継続支援B型「深川ディスプレイスふれあいの家」の業務を行っている。

ふれあいの家と当JAは農福連携として、地元農家やJA施設などで農作業を行っており今年で7年目を迎えた。

利用者は朝から一已中学校の生徒が育てたポップコーン用のとうもろこしを使い、参加者約100人分のキャラメルポップコーンを調理しクリスマス用に飾りを付けした袋に詰めてプレゼントした。利用者の家族は「カリッとしてとても美味しい」と笑顔で話していた。

アトラクションのカラオケでは、岩田清正組合長が歌を披露した際にこめっちが登場するなど会場は大いに盛り上がった。



JAきたそらち女性部 管内保育園へ手縫い雑巾を贈呈

地域貢献活動の一環としてJAきたそらち女性部員が一枚ずつ仕上げた雑巾298枚をJA管内11か所の保育園へ寄贈した。

女性部員達は「子供達が楽しく掃除が出来る様に」とカラフルな糸で縫った雑巾は、園児達が足腰を鍛えるために机や床を拭く作業などにも使われる。

各保育園からは「毎年ありがとうございます。大切に活用します」と大変喜ばれた。



わかば認定こども園



認定こども園 あけぼの保育園



北光保育園



新中央保育園



深川西町保育園 さくらんぼ



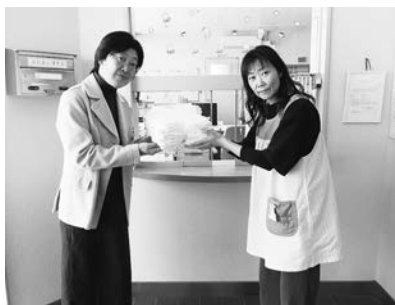
音江中央保育園



納内保育園



たどし認定こども園かぜっこ



雨竜町保育園



やわら保育園



双葉保育園

JAきたそらち女性部 『さくらカレッジ』 ハウスバンドでカゴバックを制作♪

女性部
だより

第35回さくらカレッジが、11月18日と21日の2日間に分けて当JAで開催され、23名が参加した。四つだたみ編みで作る「ハウスバンドカゴバック講習会」が行われ、深川市内在住の佐々木幸子氏と当JA女性部深川支部 横川優子氏を講師に迎えた。



1日目は、四つだたみ編みの練習が行われた。カゴバックの制作には“軽い・丈夫・水に強い”万能な素材で、農業女性にはとても親しみやすい「ハウスバンド」が使用されており、1度覚えてしまえば簡単な四つだたみ編みだが、はじめはバンドの折り返し方や穴に通す場所など苦戦していた。本体を作る作業に入ると参加者全員黙々と編み込み、「時間が経つと忘れてしまいそう」「夕方までに出来上がるか不安」と昼食を食べた後すぐ作業に取り掛かる部員もいた。首や手を休ませながら、終了時間までには全員が本体を編み終えた。



2日目は、丸編みで持ち手部分の作業に取り掛かった。四つだたみ編み以上に丸編みが難しく、1本編み上げるのに1時間程かかる部員もいた。



2日かけて仕上がったハウスバンドのカゴバックは満足のいく仕上がりとなり、参加者は「もっと大きいバックを作りたい」「温泉に行くときに使いたい」などと感想を話した。

第44回空知管内JA青年部大会

JA YOUTH
青年部
だより

11月22日、JA空知青年部連合会（引頭啓会長理事）がラ・カンパニョホテル深川（深川市）で、「第44回空知管内JA青年部大会」を開催し、空知管内の各JAより総勢約100名の盟友が参加した。

開会にあたり、引頭会長は「今年の空知管内の農作物については質、量ともに昨年に比べ良かったと感じているが、世界情勢に目を向けると円安の影響やウクライナ侵攻の影響が未だに続いている状態で、肥料や燃料などの営農に関する面で打撃を受けている。このような状況下でも我々青年部が先頭に立ち、昨今の情勢を乗り越えられるよう一丸となって今後も青年部活動に励んでいきたい」と挨拶した。

開会式に続いて行われた「JA青年部活動実績発表大会」で、当JAからは北竜支部の中村敦洋氏が北ブロック青年部大会に続いて発表を行った。また「純農Boy空知オーディション」には、当JAより深川支部の吉田翔吾氏が出場し、祖父から学んだ農業に対する思いや、今後目指していく農家のあり方を宣言し、見事グランプリを受賞。全道JA青年部大会への出場を手にした。



大会の後に行われた懇親会では、余興として「アームレスリング大会」が開催され、北ブロック青年部の代表として当JAより深川支部の北村勇氣氏が出場し、他ブロック青年部の代表と熱戦を繰り広げた結果、優勝し全道JA青年部大会への出場を手にした。



純農Boyコンテスト 吉田翔吾氏(深川支部)が準グランプリを受賞
第73回全道JA青年部大会 開催

JA YOUTH
青年部
だより

12月5日と6日の両日、北海道農協青年部協議会（高見章太会長）主催の「第73回全道JA青年部大会」が札幌パークホテルで開催され、全道から約800名のJA青年部盟友（当JA青年部より15名）が参加した。

今回は『Step For The Future ～臨機農変～』を大会テーマに定め、高見会長が「盟友数が年々減少傾向にあるが、魅力ある農業へ向かって、地区会長の方々と引き続き精力的に活動を行っていき、全道盟友の皆様とも連携を図り、力強い農業を今後も目指していきたい」と開会にあたり挨拶。今年も「JA青年の主張大会」や「JA青年部活動実績発表大会」として各地区の代表12名がそれぞれ発表を行った。また基調講演では(株)オレンジバードCOOのコチーフ・アレクサンダー氏が「世界から注目を浴びる北海道。農業はどうマーケティングをするか」と題し、外国語市場（インバウンドや海外在住者など）に向け地域や農産物の品種ごとの情報を添えてストーリー性を持たせた発信力が大切であることを説明した。

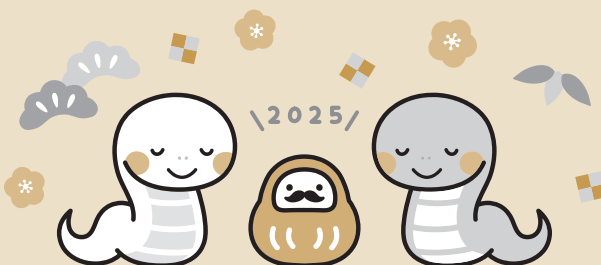
大会初日に開催された全体懇親会では余興として「各地区対抗アムスリング大会」が行われ、当JA青年部の北村勇気氏(深川支部)が空知地区代表として出場したものの、一回戦でJA新しのつ青年部の南部達彦氏(石狩地区)に惜しくも敗れる結果となった。

「2024純農Boy北海道オーディション」では当JA青年部の吉田翔吾氏(深川支部)が空知地区代表として出場し、面接選考が行われた後、懇親会場で行われた1分間の自己PRでは様々な青年部員との繋がりを持つことに対する魅力を存分にPRし、見事全道で準グランプリを獲得。今大会は大盛況のうちに幕を閉じた。



今月号の表紙

～本年も宜しくお願い致します!～



【左から】

宮田 大輔

佐藤 舞依

田口 克海

経済部幌加内資材課

金融共済北竜支所

経済部燃料課多度志給油所

今年の干支にちなみ、巳年の2001年生まれの職員3名に出演いただきました。

撮影へのご協力、ありがとうございました！

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国を一つの単位とする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みになっています。

「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要



です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。
次回(第6回)は、後援会の活動経過について報告します。

東野ひでき北海道後援会

知っておきたい得する経営情報

第19回

相続登記の義務化について

相続登記が義務化される法律が**令和6年4月1日に施行**されました。

この法律により、相続により不動産を取得した相続人は登記をすることが義務づけられ、登記を怠った場合には過料の対象となる場合があります。

なお、この法律が施行されることにより、不動産所有者が不明な状態になることを防ぎ、地域全体の農地の適正な管理と利用を維持することができるようになるため、農業従事者にとっても大変重要な法律です。

相続登記とは？

「相続登記」とは、亡くなった方の土地や建物といった不動産の所有権を、

その不動産を引き継いだ相続人に名義変更する手続きのことで、法務局で行います。

これまででは相続登記は任意であり、相続人が名義変更をしなくても罰則などはありませんでした。そのため、相続登記がされないまま次世代へと相続が繰り返されるケースも多く、不動産の所有者が誰か分からない状態の土地が増えていました。

義務化の背景

こうした「所有者不明土地」が日本全国で増加し土地の管理が行われないうことにより、周辺の環境悪化、民間取引・公共事業の阻害、災害復旧において支障が生ずる、な

ど社会問題となっていました。なお、このような所有者が不明な土地の面積を合わせると、九州の面積よりも広いといわれています。

また、令和4年度に地方公共団体が実施した地籍調査事業において、不動産登記簿のみでは所有者の所在が判明しなかった土地の割合は24%（令和4年度国土交通省調べ）にも及ぶと報告されています。

こうした問題を解決するために、令和6年4月1日から相続登記が義務化となりました。

相続登記しないとどうなる？

相続登記をしなかった場合、実際はどんな問題が生ずるのか？というと

- ・相続人がどんどん増えて、相続の話し合いがうまくいかない
 - ・書類収集の手間が増え、費用が高くなる
 - ・売却できない
 - ・担保設定できない
 - ・他の相続人の債権者からの差押
- など、このように予期せぬ事態となる可能性があります。

申請期限

相続（遺贈を含む）により不動産を取得した相続人は、その**取得を知った日から3年以内**に相続登記を申請しなければなりません。

なお、住所等の変更登記の申請については、令和8年4月1日から義務となります。

施行日前の相続

この法律が施行される以前の令和6年3月31日までに相続した未登記の不動産も、相続登記を行う必要があります。

この場合は、**令和9年3月31日までに相続登記をしなければなりません。**

罰則規定

正当な理由なく登記申請を行わなかった場合には、10万円以下の過料が課される可能性があります。

正当な理由としては、重病で登記申請を行なうことができない・DV（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）の被害者で避難を余儀なくされているなどの場合であり、単に罰

金があるのを知らなかったなどでは正当な理由にはあたりません。

専門家への相談

相続登記の手続きには、遺産分割協議や書類の収集が必要になります。また、農地に関する特例や相続税などの税金の申告等が必要となる場合があります。そのため、複雑な手続きに對しては専門家の適切なサポートを受けると安心です。

費用の確認

相続登記手続きを司法書士などに依頼する場合はその費用、また登記に伴い登録免許税の納付が必要となる場合がありますので、その税額も確認しておくスムーズに手

続きを進めることができます。

なお、少額の土地を相続により取得した場合の登録免許税については、現在のところ令和7年3月31日までは免税となっています。（免税の期限については、随時専門家にお尋ねください）

所有不動産記録証明制度

現在は、被相続人（亡くなった方）の所有している全国の不動産を一覧で調べる方法はありません。

しかし、令和8年2月施行の「所有不動産記録証明制度」において、一度の手続きで被相続人名義のすべての不動産登記情報を一覧で確認することができるようになります。

す。これにより、相続登記が必要な不動産を容易に把握でき、もれなく相続登記を行うことができると考えられます。

相続登記の義務化は土地の適切な管理はもちろんですが、今後の農業の発展にとっても重要だと考えられます。

ぜひこの機会に自分の相続した不動産について確認し、必要であれば早め手続きを進めるのが安心です。



税理士法人
中央総合会計

「安心」が、私たちの商品です。

<http://www.csk-i.com>



JA職員 農作業実習報告 第3回

先月号に引き続き、若年職員（採用2年目）を対象としたJA非常勤役員宅における農作業実習につきまして、各実習生の感想や今後の抱負をご報告させていただきます。（今回で最終回となります）

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
総務部人事課 佐藤 風夏 (令和5年4月入組)			
①納内地区 岡田 徹 理事 (農事組合法人 旭農場)		②令和6年8月1日～8月7日	
③にんにくの選別、皮むきなど			
④岡田理事宅において農作業実習をさせていただきました。 初めての経験ばかりで不安もありましたが、旭農場の皆さんがあたたかく迎えてくださり、無事実習を終えることができました。 一番苦労したことは、にんにくの選別です。大きさや状態を見て、4つのコンテナに分けていく作業が難しく、慣れるまでに時間がかかりました。梱包したにんにくと、とうきびを持って一緒に直売所に行かせていただき、収穫されてから店頭で並ぶまでの流れを知ることができました。 乾燥が終わったにんにくの土のついた一部の、皮をむき、サイズごとに分けていく作業がとても印象に残っています。にんにくの皮の部分が残っていないと一玉として製品化することが難しくなってしまうため、慎重に作業を進めました。 実習で学んだことをこれからの業務に生かしていきたいと思います。5日間ありがとうございました。			
			
経済部資材課 竹村 汐海 (令和5年4月入組)			
①納内地区 岡田 徹 理事 (農事組合法人 旭農場)		②令和6年8月1日～8月7日	
③にんにくの根切り、トウモロコシの皮むきなど			
④作物の選別を行う際に、微妙な違いを見分けることが難しく、慣れるまでに苦労しました。また、販売した資材がどのように使用されているか知れたこと、周りの方々にたくさんお声掛けいただいたことがとてもうれしかったです。 実習を通じて、初めて目にする機械や作業が多く、新鮮な気持ちで楽しく実習を行うことができました。初日は緊張や不安でいっぱいでしたが、周りの方々の声掛けや作業場の明るい雰囲気のおかげで、すぐに作業に移ることができました。 また、普段売られている作物だけを見ていたので、出荷までの一連の流れを体験でき、いい経験になりました。また作業を行う際、力の入れ加減では商品を傷つけてしまうことがあり、取り扱いの大変さを知ることができました。通常業務では現場に出ることが少なく、普段取り扱っている資材がどのように扱われているかを見ることができ、とても勉強になりました。 岡田理事をはじめ、ご家族の皆さんや従業員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。			
			

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
経済部北竜資材課 齊藤 蒼斗 (令和5年4月入組)			
①北竜支所 永井 稔 地区代表理事宅		②令和6年8月1日～8月7日	
③水稲管理・防除作業 (ハウス整備、ラジヘリなど)			
④今回の農作業実習は永井地区代表理事と美葉牛ラジヘリ組合の皆さんにお世話になりました。屋外での肉体作業が多く、直射日光や高温により体力がかなり消耗し組合員の皆さんの大変さを実感いたしました。はじめは、休憩時などのさりげない会話をどう繋げるかを考えることに苦労しましたが、作業を進めていく中で、話し方や適切な話題作りの方法が少しわかったような気がします。 特に印象に残っていることは、ラジヘリ作業です。ラジヘリを飛ばすこと以外わからなかったため、作業自体が印象に残っています。 全体を通して、自分の成長を実感することができた実習でした。販売しているハウス部品や農薬を実際に使用することでより理解を深めることができました。また、実習を通して普段は気づけなかった自分の成長に気づけたこともいい経験になったと思っています。 永井地区代表理事のご家族をはじめ、美葉牛ラジヘリ組合の皆様、素人同然の私を受け入れてご指導くださり、誠にありがとうございました。			



食農教育事業「イペ・トイ・レシカ」第5回 クリスマスパーティおよび閉校式

総務部

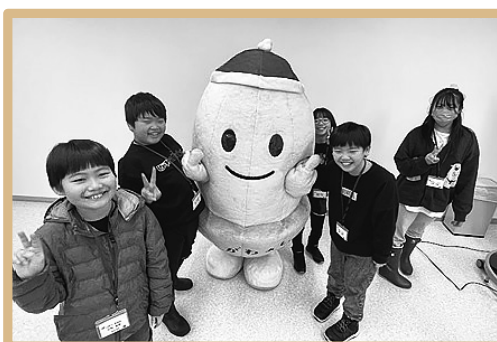
12月14日、第5回『イペ・トイ・レシカ』及び閉校式が行われ、子ども5名と自分塾生が参加した。

はじめに『イペ・トイ・レシカ』の閉校式を行い、自分塾学長である松田直人専務が「皆さんに楽しんでもらえるよう職員も試行錯誤していたが、楽しかったですか」と尋ねると子ども達は大きく頷いていた。

その後、第1回から第4回までの活動をまとめた動画を視聴した子ども達は、「全部楽しかった」「職業体験が楽しかった」と1年間の振り返り参加した感想を話した。

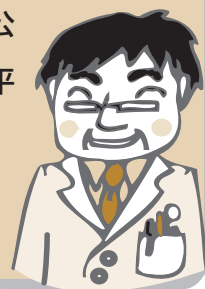
閉校式後に行ったクリスマスパーティでは、深川産りんごの品種あてクイズ、フルーツを沢山入れたスコープケーキ作り、クリスマスのオーナメントを使用した「クリスマスボトル」作りなどを行った。ビンゴ大会ではスペシャルゲストの『こめっちサンタ』が参加し、クリスマスパーティを盛り上げた。あっという間に時間は過ぎ、子ども達は名残惜しそうに「来年も参加する!」と話した。

【総務部 墓田】



慢性リンパ性白血病

たかはし内科消化器内科 院長 高橋 公平



慢性リンパ性白血病は急性白血病や慢性骨髄性白血病と違い、骨髄造血の分化過程に問題があるわけではなく、成熟した小型B細胞が腫瘍化（骨髄や末梢血で自立性に増殖）したもので、最終的にはリンパ節や脾臓に浸潤していきます。

欧米では全白血病的約30%を占めますが、本邦では2-3%です。好発は60歳以上の男性で慢性骨髄性白血病と同様に症状に乏しく、無症状のことが多いため、健診で白血球増多を指摘され発見されることが多い疾患です。進行すると、易感染性、リンパ節腫大、肝脾腫を合併します。

B細胞はもともと免疫に必要な抗体を産生していますが、腫瘍化することにより正常な抗体を産生しないため易感染性をきたします。また、患者さん自身の正常な赤血球や血小板に対する自己抗体を病的に産生し、自己免疫性溶血性貧血や免疫性血小板減少性紫斑病を合併することがあります。採血データでは慢性骨髄性白血病では白血

球が増加し、赤血球や血小板は基本的に変化しませんが、自己免疫性溶血性貧血や免疫性血小板減少性紫斑病では赤血球や血小板が減少します。

慢性骨髄性白血病は非常にゆっくり進行し、さらに抗がん剤に反応しにくいいため、抗がん剤のメリットがあまりなく、むしろ副作用のデメリットのほうが上回るため、基本的に無症状の場合は経過観察となります。症状があれば、多剤併用化学療法、自己免疫性溶血性貧血を合併していればプレドニゾン（ステロイド）を併用します。

正確な診断と経過観察が重要な疾患で血液専門医への紹介が必要です。健診で異常が指摘された方はお近くの医療機関にご相談ください。



十二月俳句

●雨電俳句会

艶の良し冬至南瓜を選び置く
晩酌のつまみが変わる初の霜
燈火置く本を重ねて夜長かな
冬うらら布教の説話涙する
久々の雪の重さに老いを知る
雪予報今日は最後の外仕事

北川 満江
小山 邦男
佐々木待子
松本 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

●「道」俳句会 北電支部

光出す思案の果の冬木の芽
去年今年ソーラー電波の腕時計
街路樹の間の鈍色雪催い
手習いは見様見真似の注連飾り
しづるるや喪中のハガキ昨日今日
年の瀬やメールの返事五分待つ
白菜を包む紙上の俳句欄

山本 玲子
山岸 正俊
阿部れい子
山下 好晴
宮脇美和子
佐藤英智子
吉尾 広子

●土筆俳句会

初雪や一步の先もそのときも
雪こんこすべらぬ細き靴探す
師の言葉思ひ起こして年の暮れ
重暗き空を穿てし青冚ゆる
霜の月子等帰る日のライン待つ
飾り無く実家と吾の家父の影
露天風呂猿もお先に雪化粧
小春日や高速道路数珠つなぎ
梅干しの種が弾ける冬至粥

高尾美津子
池田 美知
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
沼田留美子
小橋 厚子

JAバンクからのお知らせ

冬

令和6年12月2日～
令和7年1月31日まで

の定期貯金 キャンペーン2024



IB・ATM限定

抽選でお米が当たる！！

預入金額50万円につき1口の抽選権を
自動付与します。

抽選で30名様にJAきたそらち産の
お米5kgをプレゼント🎁

※当選者には、こちらから連絡させていただきます。



JAネットバンクがアプリで使えるようになりました！
JAネットバンク・JAバンクアプリプラス
にてお預入れのお客様

年 **0.1%** 上乘せ

【 預入条件 1年～5年 スーパー定期・大口定期 】

ご利用には、PCまたはスマートフォンでの登録が必要です。
登録はキャッシュカードをお持ちの方が対象です。

預入には、総合口座通帳または定期貯金通帳が必要です。
事前に、お持ちの定期貯金口座を
JAネットバンク・JAバンクアプリプラスの
サービス利用口座へ登録が必要です。



©よりぞう



ATM にてお預入れのお客様

年 **0.05%** 上乘せ

【 預入条件 1年～5年のスーパー定期・期日指定定期 】

現金の場合、総合口座通帳または定期貯金通帳が必要です。

※ATMには1回で最高100枚まで投入できますので、
最高100万円まで預入が可能となります。

口座振替の場合、総合口座通帳または定期貯金通帳、
キャッシュカードが必要です。

※1回の取引で1,000万円未満まで預入が可能となります。



金融共済部からのお知らせ



もし病气やけがで休職する事になったら… 住宅ローンはどうなるの？

※団信とは「団体信用生命共済（保険）」の略でローンの返済に特化した生命共済（保険）です。



そんな方は まずはお近くのJAに相談してみましょう
他にもローンが支払えなくなるリスクを知っていますか？

※この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。【24012062029】

金融共済部からのお知らせ

団信には種類があります

JA共済キャラクター
ひとのわぐま

家族のみんなが
安心して
生活していくために
びったりの保障を
JAでみつけるのわ

保障内容を確認して不足部分を補いましょう

※該当条件についてはお問い合わせください

特約なしの 団信

保障内容

死亡・所定の後遺障害状態
になったとき

万が一のとき/
対象の
住宅ローン残高が **0** 円
でも、残された家族の
生活はどうなるの？

三大疾病保障付 団信

保障内容

死亡・所定の後遺障害状態
がん・急性心筋梗塞・脳卒中
で所定の状態と診断されたら

三大疾病に/
なったとき/
対象の
住宅ローン残高が **0** 円
でも、病気を抱えながら
治療費や生活費はどうなるの？

9大疾病補償付 団信もあります

保障内容

・死亡・所定の後遺障害状態
がん・急性心筋梗塞・脳卒中
で所定の状態と診断されたら
・高血圧症・糖尿病・慢性膵炎・
肝硬変・慢性腎不全・
ウイルス肝炎

と診断され働けない状態が
365日以上続いたら

対象の
住宅ローン残高が **0** 円

え...
考えたことも
なかったわ

そんな時のためにあなたに合った保障を選ぶことが **大切** なんです

生きていくための保障

◎ささエール

生活障害共済

◎そなエール

特定重度疾病共済



万が一の保障

◎終身共済



◎養老生命共済

病気に備える保障

◎医療共済

◎がん共済



将来に備える保障

◎予定利率変動型

◎年金共済

◎こども共済



団信にしっかり入っていれば安心というわけではありません
その後の生活のために備えておきましょう



団信の該当条件など詳細、お申し込み・ご相談はお近くのJA窓口、または下記までお問い合わせください

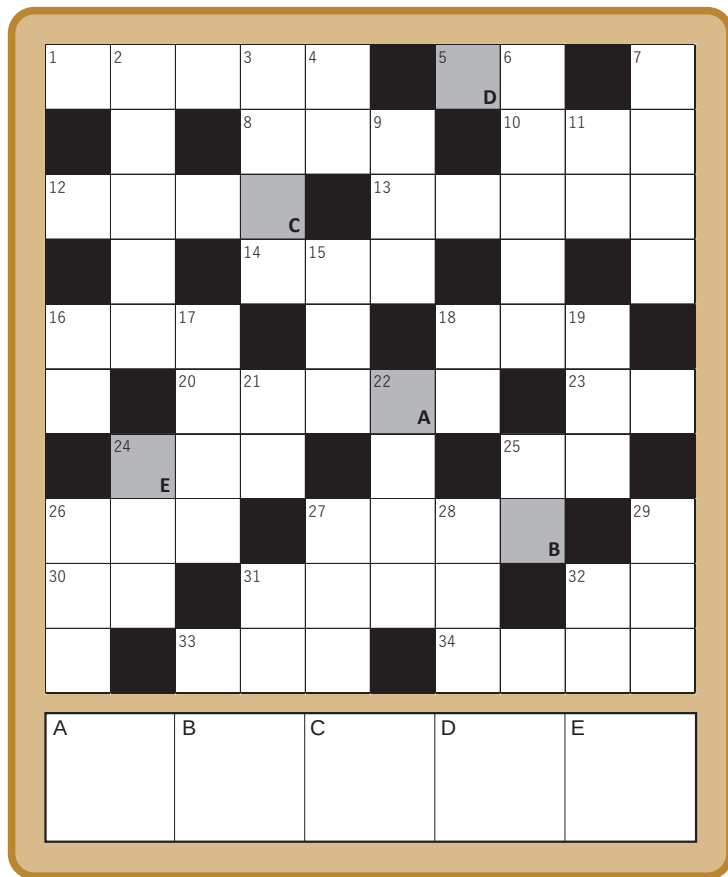
● JA共済
● JAきたそらち

本 所 TEL 0164-22-6619
音江支所 TEL 0164-25-1111
深川支所 TEL 0164-22-2171
納内支所 TEL 0164-24-2211

多度志支所 TEL 0164-27-2111
雨電支所 TEL 0125-77-2331
北電支所 TEL 0164-34-2280
幌加内支所 TEL 0165-35-2024

掛金
シミュレーション
はこちら
-->





【タテのカギ】

- 2 友達どうしの親愛の情。
- 3 風呂のある部屋。風呂場。
- 4 動物の頭と胴を繋いでいる部分。肩から上の部分。
- 6 内部にたまった不要の物を外へ押し出すこと。
- 7 ジェットエンジンやプロペラの回転によって空を飛ぶ乗り物。「紙○○○○」
- 9 割れたところ。さけめ。ひび。
- 11 初夏の長雨。またはそのはじめとした季節。
- 15 手で持つための部分。
- 16 ご飯にかける小さな種子。白○○、黒○○などがある。
- 17 要求を押し通すために拘束しておく相手側の人。「娘を○○○○に取られた」
- 18 過去から現在、未来へと切れ目なく一定の速さで流れていくもの。時間。

- 19 プディング。特にカスタードプディング。
- 21 動物の指の先にある、かたいもの。
- 22 北極・南極地方の高い空に現れる、放電による発光現象。
- 24 塩気の無い、ふつうの水。
- 25 田舎。生まれ育ったところ。「○○帰り」
- 26 たくさんの珠（たま）を糸に貫いて輪にしたもの。
- 27 結婚したばかりの女性。花嫁。
- 28 眠いときや退屈するときなどに自然に起こる深呼吸。
- 29 物事がこの先どうなるか、前もって見当をつけること。
- 31 順に長く並んだもの。並び。
- 32 書かれた文字。書いてまとめた物。書物。

【ヨコのカギ】

- 1 風呂に入ること。入湯。
- 5 打ち破ること。
- 8 犬やネコの首にはめる輪。
- 10 ひとつ。
- 12 方向や道順などを示す矢の形の印。
- 13 勉強や運動を繰り返し習うこと。「シュート○○○○」
- 14 会社や役所の仕事。しなければならないこと。「親の○○○」
- 16 合格と不合格。合格か不合格か。
- 18 首位。一位。順序の一番上。最上部。「○○○に躍り出る」
- 20 いざというときのために大切にしておくこと「○○○○○の話」
- 23 便利な器具・機械「文明の○○」
- 24 真剣であるさま。誠実な様子。「○○○な人」
- 25 みつつ。
- 26 地味な態度で手堅く着実に物事をすること。「○○○な作業」
- 27 昔、城があった場所。
- 30 酸味が強い淡黄色の果肉を持つミカンの仲間の果物。「○○胡椒」
- 31 様子を相手に知らせること。伝達。「○○○○する」
- 32 葉は梅干しの着色に使われる、大変香りの良い一年草。
- 33 英語で上へ上げること。
- 34 きわめてわずかな量。

11月号の正解は

「イチョウ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 栗林 修 様
深川市 加藤 光代 様
札幌市 鈴木 優子 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切1月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和7年3月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 10月末推定決算について
5. 財務報告及び事業実績について
6. 反社会的勢力等との取引状況について
7. マネーローングリング等の取引状況について
8. コンプライアンス事故報告について
9. 令和6年度第3四半期 内部統制及びリスク管理の取組状況について
10. 理事に対する資金の貸付に係る報告について
11. 令和6年9月基準 マネロン等の防止にかかる対応状況について
12. 職員の人事及び業務事故について
13. 役職員新年交礼会について
14. 令和6年12月 営農懇談会日程について
15. 貸出金の貸付報告について

- 議案第1号 みのり監査法人 期中監査Ⅱ結果概要報告について
- 議案第2号 組合員の出資金持分譲渡について
- 議案第3号 職員の年末手当の支給について
- 議案第4号 役員選任事務手続き実施日程について
- 議案第5号 貸出金の貸付について
- 議案第6号 クミカン貸越極度額の変更について
- 議案第7号 信用事業規程の一部変更について

1. 第8次農協経営計画の基本方針・各事業経営方針について
2. 第8次農業振興計画素案について
3. 令和7年度 営農計画について

16. 令和7年度 作付意向調査結果について
17. 令和6年度 賦課金徴収実績について
18. 令和6年度 米集荷状況について
19. 令和6年度産水稻の10月25日現在の予想収穫量について
20. 過年度精算見込と令和6年度特定米穀精算見込について
21. 令和6年度産うるち米・もち米概算金支払額について
22. 令和6年度産もち米JA仮渡金の受領及び返還に係る承諾書について
23. 令和7年度産米の取組方針について
24. 令和7年度産米以降の集荷施策検討について
25. 令和6年度 畑作物集荷状況について
26. 令和6年度畜産物の販売実績（10月末）について
27. 青果・花き集荷販売実績について
28. 令和6年度 営農灯油特別対策について
29. 経済部事業実績について

- 議案第8号 令和6年度 クミカン精算に係る農協仮渡金の対応について
- 議案第9号 令和5年度産米 違約金の徴収について
- 議案第10号 令和6年度 そば共計品（一般品）の概算金について
- 議案第11号 令和6年度 種子馬鈴薯年内概算金の支払について

4. 第8次農業振興計画における米価設定と米販売手数料について
5. 令和7年度 営農計画書 米関係単価について
6. 令和7年度 営農計画書 畑作関係単価について

退職者

大変お疲れ様でした

令和6年12月31日付

◆経済部雨竜資材課 藤井 寿太郎

◆深川支所営農課 畠中 将希



組合員の動き

（令和6年11月末日）

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,197	13	36	1,174
	団体	106	4	0	110
准組合員	個人	5,398	83	56	5,425
	団体	268	3	0	271
正組合員戸数		853	1	19	835



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和6年11月実績

○累計（R5.12～R6.11）

発電電力 **22,446kWh**

発電電力 **554,423kWh**

計画対比 +5,662kWh

計画対比 +139,490kWh

前年対比 +1,156kWh

前年対比 +44,531kWh

売電金額 897,840円（40円/kWh）

経済部 資材課からのお知らせ

JAきたそらち

本所資材店舗

店舗入口より
お入りください



作業衣類 展示会

2025年

2月6日(木)
7日(金)

10:00~15:00



普段店頭にはない
防寒長靴やヤッケ、手袋類を
期間限定の展示会価格
として**格安**で提供!

※写真は去年の様子になります

♪ 同時開催 ♪

たいやきCOCO

・たいやき(つぶあん、クリーム) (11時半~12時半)

多度志加工部会

・笹団子 (6日のみ販売10時~12時)

きっちん みゅう

・コッペパンサンド ・特製肉まん (10時~14時)

わだ商事

・時計販売 ・電池交換 (10時~15時)

作業衣類展示会のお問い合わせは、経済部資材課まで
☎:0164-26-0124

